大きな	③ けん じが	だ	② の ぶ よ の	① 花火が		くしている	二次の文の	歯ブラシを	③ けんじは	たたむ。	② のぶよは	① 朝 の 日 ^ひ	ましょう。	わしくして	葉をくわし	一次の文の	東十三―三	
言った。	が 前を 走りながら ^{まえ} はし	高くなった。	しんぞうの	パッパーンと 上がった。		いる言葉の横に線を引きましょこ	の言葉を、くわし	シをふりまわした。	むきになって	ງ°	のそのそと ふとんを	日差しが 差しこむ。		いる言葉の横に線を引き	くしているでしようか。く	の言葉は、どの言	修 飾 なまえ なまえ	
C ゆいいつ	Aとても	「名水百選」	③ 南 沢 湧水は ^{みなみさわわきみず}		C それから	A ゆっくり	ツツジだ。	② 東久留米市のひがしくるめし	C 「ひ」の	A くわしく	ものだ。		① 東久留米市の		ら選び、「こことをある」	三次の文の	年組	取と り 組く
D いまだに	B けっして	に選ばれた。	都内で		D 植物に	B きれいな		花は	D とても	B それから		文字を 図案化した ずあんか	シンボルは	- -	ら選び、「 ̄ ̄」に記号を書きましょくする言葉をあとのAからDの中か	の言葉をくわ	番	ばん月がっている